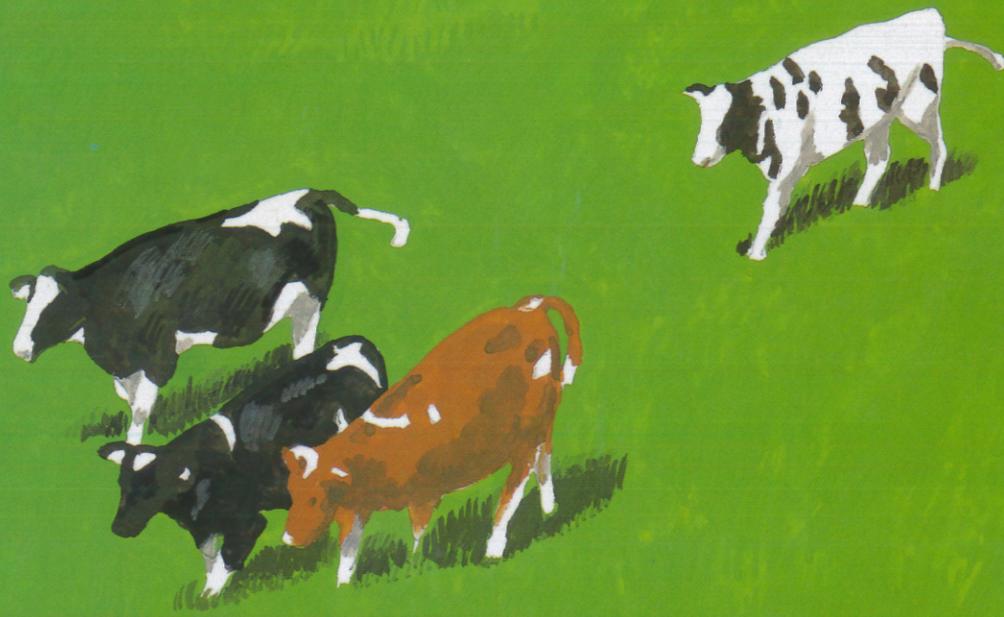


# 週刊文春

9月8日号 定価400円





# 続・正しい知識があなたの命を守る

2016.9.8  
週刊文春

でも、治療のオーダーを受けてただ照射する「かけ屋」になってしまっている医師もいます。患者さんはこうした現状を理解し、自分の人生の時間の質を落とさないために、医師や治療を選んでください」と西尾医師は言います。

では、効果的な放射線の使い方とはどんなもののか。治療選択の目安から最新事情まで放射線治療の専門家に聞いた。

西尾医師によると、放射線治療の主なメリットは、次の二点だ。

①切らすに済み、痛みがないこと。

②手術のよう全身麻酔やリハビリの必要がなく、その日から普通に食事が取れること。

そのため、体力のない高齢者や、全身麻酔がかけられない人、心臓病や重い糖尿病などの持病があつて他の治療が難しい方や、体力的に他の治療が厳しい方でも治せるチャンスがあることが大事だと思っています」(櫻井医師)

治療の適応は、外科や内科、腫瘍内科、緩和などとの合同カンファレンスで決められます。希望する方が全員受けられるわけではありませんが、たとえば、がんは小さくても、糖尿病やリウマチ、心臓病などの持病があつて他の治療が難しい方や、体力的に他の治療が厳しい方でも治せるチャンスがあることが大事だと

かが課題のひとつになつているが、陽子線治療ならそれにも対応できる。

「治療のため、他の治療で保障されるケースも増えているが、十割負担で約三百万円かかる。現在、肝臓がんでは保険認可を目指した試験が行われている。また、他の治療と組み合わせることで高い治療効果を上げる放射線治療もある。舌がんなどの口腔がんに

使う方法とほとんど同じだ。治療選択の目安から最新事情まで放射線治療の専門家に聞いた。

でも、治療のオーダーを受けてただ照射する「かけ屋」になってしまっている医師もいます。患者さんはこうした現状を理解し、自分の人生の時間の質を落とさないために、医師や治療を選んでください」と西尾医師は言います。

では、効果的な放射線の使い方とはどんなもののか。治療選択の目安から最新事情まで放射線治療の専門家に聞いた。

最初に見つかった肺がんは、左右の縦隔や鎖骨上のリンパ節まで転移した進行がんだった。手術はできず、医師からは「抗がん剤治療になる」と言われた。佐藤さんは年齢的な不安から別の治療法を希望したが、「うちでは他に方法がないので、緩和ケアへ」と告げられた。

「そんな折、神戸低侵襲がん医療センターのことをテレビで娘が知りました。何か方法はないか」という一心で訪ねたら、他の臓器に転移がないので「トゥルーピーム」という高精度な放射線装置で治療ができると。すぐに入院して二十回の照射を受けました」(佐藤さん)

放射線治療は時間の経過

西尾医師によると、放射線治療の主なメリットは、次の二点だ。

①切らすに済み、痛みがないこと。

西尾医師によると、放射線治療の主なメリットは、次の二点だ。

西尾医師によると、放射線治療の主なメリットは、次の二点だ。

西尾医師によると、放射線治療の主なメリットは、次の二点だ。

西尾医師によると、放射線治療の主なメリットは、次の二点だ。

西尾医師によると、放射線治療の主なメリットは、次の二点だ。

西尾医師によると、放射線治療の主なメリットは、次の二点だ。

西尾医師によると、放射線治療の主なメリットは、次の二点だ。

西尾医師によると、放射線治療の主なメリットは、次の二点だ。

西尾医師によると、放射線治療の主なメリットは、次の二点だ。

## 痛みもなく、外来で治療できる

痛みをしないと、がんが再発する可能性がありました。

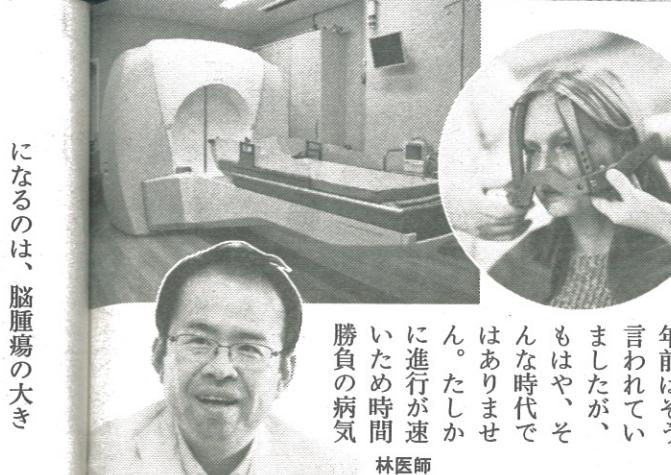
そこはご本人も承知されていて、仮に再発しても、定期検診の中でがんを小さいうちに見つけて追加治療する生活を望まれました」

それから四年後。舌がんに続いて、肺がんからの肝転移が見つかった。

痛みをしないと、がんが再発する可能性がありました。

西尾医師によると、放射線治療の主なメリットは、次の二点だ。

</div



ガンマナイフ治療室と治療  
の際につける「枠」(室内)

要で、手術で命が助かっても、顔の形状が変わつてしまつたり、話せない、食べられない、よだれが止まらないなど、QOLが著しく低下して精神的に病んでしまう人も少なくありません。

動注療法は放射線と組み合わせることで、そこに光硬化が強い、肝機能・腎機能が落ちて抗がん剤治療が難しいという人でも、治療を当たられる。高齢で動脈硬化が強い、肝機能・腎機能が落ちて抗がん剤治療ができるのです」(不破医師)

がんの再発で最も恐れられているのが脳への転移だ。「がんが頭に飛んだら終わる」。十一年前はそう言われていました。がんもはや、そんな時代ではありません。たしかに進行が速いため時間勝負の病気

死のことばかりが頭に浮かんでいた水野さんは驚いた表情を見せたが、登山に行けたら写真一枚、林医師にプレゼントすると約束し、翌週、治療を受けた。

ガンマナイフは、専用の(仮名・七十五歳)は、肺が命を守り、自分らしく生きる時間を増やすことにつながります」(林医師)

東京都在住の水野洋さん(仮名・七十五歳)は、肺が命を守り、自分らしく生きる時間を増やすことにつながります」(林医師)

水野さんは一瞬考え、「毎年秋に旅に出て、山に登り、写真を撮るのが一番の楽しみでした」と答えたという。

水野さんは「瞬考え、「毎年秋に旅に出て、山に登り、写真を撮るのが一番の楽しみでした」と答えたという。

水野さんは「瞬考え、「毎年秋に旅に出て、山に登り、写真を撮るのが一番の楽しみでした」と答えたという。

東京都在住の水野洋さんは「瞬考え、「毎年秋に旅に出て、山に登り、写真を撮るのが一番の楽しみでした」と答えたという。

東京都在住の水野洋さんは「瞬考え、「毎年秋に旅に出て、山に登り、写真を撮るのが一番の楽しみでした」と答えたという。

東京都在住の水野洋さんは「瞬考え、「毎年秋に旅に出て、山に登り、写真を撮るのが一番の楽しみでした」と答えたという。

東京都在住の水野洋さんは「瞬考え、「毎年秋に旅に出て、山に登り、写真を撮のが

んの治療中に右手の麻痺が起こり、MRI検査をしたところ、脳に二・五cmの腫瘍(脳転移)が見つかった。医師のもとへやって来た水野さんは、脳にがんができたことにショックを受け、不安で一杯だった。

しかし、林医師からは意外な問い合わせがあった。「この病気が治つたら何ができますか?」

東通り撮影した写真を持参していた。二・五cmあった腫瘍は一・五cmに。半年後にはほぼ痕跡だけになっていた。現在も肺がんの治療は続いているが、「この半年で、生きていて楽しい、まだやれるんだという感覚が持てた」と水野さんは本来の明るさを取り戻している。

「脳転移が見つかった患者さんは、『脳転移Ⅱ末期Ⅱ死』という方程式を頭に浮かべて来られるので、心のケアも重要です。決してそんなことはなく、わずか一日で恐い脳腫瘍を退治して、好きなことができるんだと実感してもらえる。それが

全脳照射とガンマナイフを含む定位照射(ピンポイント照射)との比較については、日本国内の大規模多施設共同研究の結果が発表された。

今年六月、米国癌学会で、全脳照射とガンマナイフを含む定位照射(ピンポイント照射)との比較について、日本国内の大規模多施設共同研究の結果が発表された。

東通り撮影した写真を持参していた。二・五cmあった腫瘍は一・五cmに。半年後にはほぼ痕跡だけになっていた。現在も肺がんの治療は続いているが、「この半年で、生きていて楽しい、まだやれるんだという感覚が持てた」と水野さんは本来の明るさを取り戻している。

「脳転移が見つかった患者さんは、『脳転移Ⅱ末期Ⅱ死』という方程式を頭に浮かべて来られるので、心のケアも重要です。決してそ

んなことはなく、わずか一日で恐い脳腫瘍を退治して、好きなことができるんだと実感してもらえる。それが

全脳照射とガンマナイフを含む定位照射(ピンポイント照射)との比較については、日本国内の大規模多施設共同研究の結果が発表された。

今年六月、米国癌学会で、全脳照射とガンマナイフを含む定位照射(ピンポイント照射)との比較について、日本国内の大規模多施設共同研究の結果が発表された。

東通り撮影した写真を持参していた。二・五cmあった腫瘍は一・五cmに。半年後にはほぼ痕跡だけになっていた。現在も肺がんの治療は続いているが、「この半年で、生きていて楽しい、まだやれるんだという感覚が持てた」と水野さんは本来の明るさを取り戻している。

「脳転移が見つかった患者さんは、『脳転移Ⅱ末期Ⅱ死』とい

うな治療が見つかることがあります」(西尾医師)

現在、脳転移が見つかると、標準治療では全脳照射といつて脳全体に放射線を当てる治療が行われます。

一度脳へ転移すると、脳に多くの腫瘍が発生しやすくなるため、脳全体に放射

線を当てる腫瘍の成長を抑えるわけです。しかし、徐々に認知機能が下がるこ

とが大きな問題でした。

一方、腫瘍をピンポイントで狙うガンマナイフは、認知機能への悪影響はな

く、自分らしく生きる時間は保たれる。繰り返し治療が必要になつても、何度も行えます」(林医師)

トで狙うガンマナイフは、認知機能への悪影響はな

く、自分